

令和3年4月入学者用

編入学生募集要項

(出願書類添付)



物質工学科



機械工学科



制御情報工学科



技術者・科学者
を目指して!



電気電子工学科



電子制御工学科

願書受付期間	選 抜 期 日	合格発表日	入学説明会
令和2年10月27日(火)～ 10月29日(木)	令和2年11月14日(土)	令和2年11月19日(木)	令和2年12月8日(火)

新型コロナウイルス感染症対応のため、日程等を変更する可能性があります。ご了承ください。



独立行政法人 国立高等専門学校機構

沼津工業高等専門学校

www.numazu-ct.ac.jp

募 集 要 項

1. 募 集 人 員

学 科	募集人員	編入学年
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 工 学 科	若 干 名	
電 子 制 御 工 学 科	若 干 名	
制 御 情 報 工 学 科	若 干 名	
物 質 工 学 科	若 干 名	

2. 出 願 資 格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む）で出身（在学）学校長が推薦する者
- (2) 高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
（学校教育法施行規則第150条に該当する者）

3. 志 願 学 科

本校各学科への志願は、高等学校の別（普通、工業、農業、商業その他）及び卒業（在学）の科の別を問わずにできます。

4. 出 願 期 間

令和2年10月27日(火)～令和2年10月29日(木)

※郵送の場合も令和2年10月29日(木)午後5時までに必着のこと。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、日程等を変更する可能性がありますのでご了承ください。

受付時間 午前9時から午後4時30分まで

受付場所 沼津工業高等専門学校学生課入試・国際交流係

〒410-8501 沼津市大岡3600

5. 出 願 手 続

- (1) 志願者は、出身学校長を経て、次に掲げる提出書類を願書受付期間中に持参又は郵送してください。

なお、郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書してください。

また、出願資格の(2)に該当する場合は、出願方法、提出書類等について、受付期間の1週間前までに本校学生課入試・国際交流係まで問い合わせ、その指示に従ってください。

- (2) 提出書類等

編入学願書 (願書添付用通知書) 写 真 票 受 検 票	本校所定の用紙を使用し、 本人が記入してください。 写真票には、出願時前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(縦5cm×横4.5cm)を貼り付けてください。 ※出願後の志願学科の変更は認められません。
調 査 書	在(出身)学校所定の様式により学校長が作成し、厳封したもの。 ただし、備考欄に席次(第1・2学年は学年末、第3学年は1学期につき「人中 位」)を記入してください。(クラス又は学年)
推 薦 書	本校所定の様式にて、在(出身)学校長が作成したもの。
検 定 料	16,500円 本校所定の用紙に学校名・受検者氏名・住所を記入の上、金融機関窓口で振り込んでください。なお、振込用紙の⑧願書添付用通知書を編入学願書裏面に貼付してください。 ただし、ゆうちょ銀行からの振込については、添付の入学検定料振込用紙記載の注意点を参照してください。
返信用封筒 (長形3号)	受検票を受検者あてに送付しますので、郵便番号・住所・氏名を明記し、244円切手(特定記録料金を含む)を貼り付けてください。 ※ 出願書類を持参する場合は、返信用封筒は不要です。

- (3) 出願上の注意

提出書類等に不備があるものは受け付けません。また、提出書類に不正な記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

なお、検定料を納付したけれども出願しなかった場合や検定料を重複納付した場合は、余分の検定料は返還します。返還請求については、本校学生課入試・国際交流係にお問い合わせください。

6. 選 抜 方 法

選抜は、学力検査、調査書及び面接の結果を総合して行います。

学力検査

検査科目	出 題 範 囲		配 点
数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ		100点
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ		100点
専 門 科 目	選 択	物理基礎	100点
		電気基礎・電子技術（電子回路）	
		化学基礎・化学（高分子化合物を除く）	

※専門科目については、出願時に物理基礎、電気基礎、化学基礎のいずれかを選択してください。ただし、機械工学科を志願する者は物理基礎、電気電子工学科を志願する者は電気基礎・電子技術（電子回路）、物質工学科を志願する者は化学基礎・化学（高分子化合物を除く）を必ず選択してください。

※専門科目に限り、電卓（プログラム機能のないもの／四則演算、平方根と百分率の計算機能及び数値メモリのみのみ有するものに限る）の使用が認められています。また、有効数字を指定して出題されることがあります。

7. 検査日時及び会場

検査日	時 間	検査科目等	検査会場
令和2年 11月14日(土)	8:30～8:50	受 付	沼津工業高等専門学校 沼津市大岡3600
	9:10～10:10	数 学	
	10:30～11:30	英 語	
	11:50～12:50	専 門 科 目	
	14:00～	個人面接※	

※10分程度

8. 合 格 発 表

令和2年11月19日(木)正午

本校学生玄関横の掲示板及び本校ウェブサイトの入学案内ページにて発表するとともに、在（出身）学校長あて文書を郵送して通知します。

なお、出願資格の(2)に該当する受検者には、文書での通知は本人あてに郵送します。

9. 募集要項等の請求・問い合わせ

募集要項の請求及び出願に関しては、本校学生課入試・国際交流係に問い合わせてください。

なお、募集要項の郵送を希望する場合は、郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒（角型2号、料金分の郵便切手貼付）を同封し、請求してください。（募集要項請求部数 1部180円、2部215円、3～5部310円）

10. 受検及び就学上の配慮が必要な者の出願

障害等があり、受検及び就学上の特別な配慮を必要とする志願者は、8月末日までに本校学生課入試・国際交流係に相談してください。

11. 自然災害に伴う検定料免除の臨時措置

原則として、志願者の主たる家計支持者が令和2年度に災害救助法の適用があった地域に居住していて、かつ被災した場合には、申請により検定料が免除されます。免除を申請する場合は、事前に学生課入試・国際交流係へ連絡してください。

12. その他

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった選抜時に取得した個人情報、選抜資料として利用する他、次の目的にも利用します。

- (1) 当該志願者の入学後の教育・指導
- (2) 当該志願者の入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 当該志願者の奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

出願及び問い合わせ先

沼津工業高等専門学校 学生課入試・国際交流係

〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600
TEL:055-926-5962 (学生課直通)
FAX:055-926-5882
E-mail:nyuusi@numazu-ct.ac.jp

編入学願書

志願票

志願学科				
受検番号	※			
ふりがな				
氏名	男・女		日生	
出願資格	平成 令和	年 月	科 卒業 卒業見込	
在(出身)学校所在地	〒			
ふりがな				
保護者現住所				
ふりがな				
保護者氏名				
入学に関する連絡住所	(ふりがなをつける)	郵便番号	—	
選択科目	物理基礎	電気基礎	化学基礎	(希望科目を○で囲むこと)
参考	平成 年	中学校卒業	決定	※

注 1. ペン又はボールペン(黒)を用い楷書で記入し※印欄は記入しないこと。
2. 氏名・出願資格欄の該当箇所を○で囲むこと。
3. 消せるボールペンは使用しないでください。

写真票

沼津工業高等専門学校

志願学科				
受検番号	※			
ふりがな				
氏名				
選択科目				
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">見本</div>				
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> <p>写真貼付</p> <p>写真はこの大きさに切り、 裏全体にのりをつけてはる (縦5cm×横4.5cm)</p> </div>				

注 1. ペン又はボールペン(黒)を用い楷書で記入し※印欄は記入しないこと。
2. 消せるボールペンは使用しないでください。

きりはなさないこと

受検票

沼津工業高等専門学校

志願学科				
受検番号	※			
ふりがな				
氏名				
選択科目				
学力検査時間割 (8時30分から8時50分の間に受付を済ませること)				
時間	検査科目等			
9:10~10:10	数 学		学 語	
10:30~11:30	英 語		専 門 科 目	
11:50~12:50	専 門 科 目		面 接	
14:00~				

注 1. ペン又はボールペン(黒)を用い楷書で記入し※印欄は記入しないこと。
2. 裏面の受検者心得をよく読むこと。
3. 消せるボールペンは使用しないでください。

きりはなさないこと

受 検 者 心 得

1. 受検者は、検査日に本票を常に携帯し、係員の指示に従ってください。
2. 学力検査においては、黒鉛筆・シャープペンシル・シャープペンシルの芯・消しゴム・鉛筆削り・時計（計時機能のみ）以外の使用は禁止します。アラーム、スマートフォン機能の使用は認めません。ただし、専門科目に限り電卓（プログラム機能のないもの／四則演算、平方根、百分率の計算機能及び数値メモリのみ有するものに限る）を使用しません。
3. 手荷物には、係員の指示する場所に置いてください。
4. 面接室へは、受検票以外持ち込まないでください。
5. 本票は検査後も紛失しないよう保管してください。
6. 受検に関する問い合わせ先

沼津工業高等専門学校
学生課入試・国際交流係
電話 055-926-5962

見本

のりしろ

③願書添付用通知書
貼付

（ゆうちょ銀行の場合）
振込受付書（お客さま控え）
の写し貼付

推薦書

令和 年 月 日

沼津工業高等専門学校長 殿

所在地

学校名

学校長

印

下記の者は、学業成績、人物が良好でありますので、貴校に責任をもって推薦いたします。

志願学科		受検番号	※
在籍(出身)学科		生年月日・平成 年 月 日生	
ふりがな 氏名		平成 年 月 日卒業 令和 卒業見込	

⑨ ※印欄は、記入しないこと。

見本

令和 年 月 日

沼津工業高等専門学校長 殿

学校長

職印

令和3年度沼津工業高等専門学校編入学
出願書類等の送付について

このことについて、下記の者の出願書類をとりそろえて、別添のとおり提出します。

記

編入学志願者

※受検番号	氏 名	志 願 学 科

※印の欄は、記入しないでください。

郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ゆうちょ銀行からの振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- ゆうちょ銀行からの振込は下記の振込依頼書（兼振替払出請求書）を受け取り、窓口でゆうちょ銀行専用の「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を提出してください。要事項を記入のうえ提出してください。
- なお、振込依頼書の「ご依頼人」欄の「おなまえ」欄には、必ず受検者氏名を記入してください。
- 振込後は「振込依頼書のお客さま控え」を受領し、写しを入学願書の裏に貼付してください。

(注)

- 入学願書提出までに金融機関窓口で振り込むこと。
- ⑧願書添付用通知書を入学願書の裏に貼付すること。
- 志願者本人の名前で振り込むこと。

④振込金(兼手数料)受取書

(ご依頼人保管)

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥	16500		
送金手数料				
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店			
受取人	普通預金 2141374			
	高専機構本部			
	受検者氏名			
	受検者氏名			

上記金額正に受け取りました。

(注意)

- 受検者氏名を必ずご記入願います。
- 必ずこの用紙にて振り込み願います。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振込は不可。

検定料振込用

⑧願書添付用通知書

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥	16500		
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店			
受取人	普通預金 2141374			
	高専機構本部			
	受検者氏名			
	受検者氏名			
	高等学校名			

上記のとおりお振り込みいたしましたからご通知申し上げます。

この通知書は願書に貼付して下さい。

依頼人切り取り

銀行

支店

取納印

1

銀行

支店

取納印

2

⑨電信扱 振込依頼書（取扱店保存）

科目

銀行取扱期間 令和2年10月14日～令和2年10月29日(期間外取扱不可)

依頼日	令和	年	月	日
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店 普通預金 2141374			
受取人	高専機構本部			
	高専機構本部			
	沼津市大岡3600			
	(フリガナ)			
受検者氏名				
高等学校名		住	所	
			(電話 --- --)	
送金手数料	金額	¥	16500	
	通貨			
	当店券			
	他店券			

取扱銀行へお願い

- 本件内を打電してください。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振込は不可。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振込は不可。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振込は不可。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振込は不可。

銀行切り取り

認印字欄

見本

3

取納印

検印出納

入学案内

高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とし、豊かな教養と専門の技術を身につけた実践的な技術者の育成を使命とした中学校卒業程度を入学資格とする5年制の一貫教育を行う高等教育機関です。

本校では、学術的基礎とともに、実験・実習を重視し、実践的技術者を養成しており、ほぼすべての卒業生が、希望にかなった企業等への就職、高専専攻科への進学あるいは大学への編入学を進路としています。

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れの方針）

以下の意欲、および学力を有する者を、推薦選抜においては、調査書、個人面接により、学力選抜においては、学力検査、調査書により確認し、受け入れる。

- (1) 科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を有する者。(知識・技能)
- (2) 科学技術を用いて社会に貢献する意欲の有る者。(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
- (3) 科学技術の役割、技術者の責任を考えられる者。(思考力・判断力・表現力等の能力)
- (4) 他人の意見を聞き、自らの意見を言える者。(思考力・判断力・表現力等の能力)

2. 学 科 紹 介

機械工学科：機械や装置ならびにこれらに関連するシステムを設計・製造できる能力をもった機械技術者を養成する。材料力学、熱力学、水力学などの専門科目を学ぶとともに、機械工作実習、機械設計製図などの実技科目を通して、幅広い工学問題を解決できる能力を養う。

電気電子工学科：回路理論や電磁気などの基礎学習と電子計算機、電子、通信、制御、電力工学などの専門を幅広く学ぶとともに、豊富な実験・実習により技術革新に十分対応できる創造性豊かな電気電子技術者を養成する。

電子制御工学科：機械と電気を統合したシステムを創る能力を培うため、機械工学、電気・電子工学、計算機工学等のシステム要素技術と、システム工学、制御工学等のシステム統合化技術を学ぶ。特に、体験的学習、チーム学習としての実験実習、設計製作等を重視している。

制御情報工学科：制御情報工学科は、コンピュータ技術を応用してロボットの協調制御や各種メカトロニクス機器の設計・製作、データベースを用いた情報システムの構築、高度情報化社会に対応した生産システムの開発などの分野で活躍できる技術者を養成している。

物質工学科：無機化学、有機化学、分析化学、物理化学、化学工学、生物化学等の基礎の上に、新素材・先端材料、バイオテクノロジーの発展に対応できるカリキュラムを設置している。生産技術・研究開発の分野で活躍できる技術者を養成する。

専攻科は希望に応じて幅広く学べる1専攻3コース制です

総合システム工学専攻 3コースの教育目標

●環境エネルギー工学コース

機械工学、電気電子工学、応用物質工学、情報工学などの工学分野を融合複合した、環境と新エネルギー、エネルギー変換工学及びエネルギー応用工学を中心に深く学修し、総合システム工学の教育プログラムが目標とする能力を備えた技術者を育成する。

●新機能材料工学コース

機械工学、電気電子工学及び応用物質工学分野を支える基盤材料として、鉄鋼・非鉄・セラミックス材料、生物材料などを包括して学修し、総合システム工学の教育プログラムが目標とする能力を備えた技術者を育成する。

●医療福祉機器開発工学コース

機械工学、電気電子工学、情報工学などの工学分野並びに解剖生理学、生体医用工学など医工学分野を融合複合した、医用機器工学、福祉機器工学などを中心に深く学修し、総合システム工学の教育プログラムが目標とする能力を備えた技術者を育成する。

また、4か月間の長期にわたる学外実習を必修として実施している。この学外実習は、1年後期の4か月間（10月から1月）企業や大学等において技術者や研究者から指導を受け、高度な実践経験を得るものです。

3. 編入学生の入学実績

単位：人

学 科	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
機 械 工 学 科	0	0	0	0	0	0
電 気 電 子 工 学 科	1	1	0	0	0	2
電 子 制 御 工 学 科	2(1)	0	0	0	0	2(1)
制 御 情 報 工 学 科	0	1	1	1	0	3
物 質 工 学 科	2(1)	0	1	1	0	4(1)
合 計	5(2)	2	2	2	0	11(2)

() 内は第3学年受入数で内数

4. 編入学時の単位認定について

編入学する学級の学生が、1学年から3学年までに標準的に修得する単位数と同一の単位数を認めています。

5. 授業科目（編入学生が履修する科目）

一 般 科 目（各学科共通）

【必修科目】		
文学特論	総合英語AⅣ	哲学
【選択科目】		
法学・経済学（いずれか1科目選択） 選択外国語		ドイツ語 海外語学研修

専 門 科 目（機械工学科）

【必修科目】		
応用数学A 応用数学B 応用物理Ⅱ 材料力学Ⅱ 熱力学 水力学Ⅰ 水力学Ⅱ 機械工作法	機械設計法 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 社会と技術 社会と工学 社会と産業 機械設計製図Ⅲ 機械設計製図Ⅳ	機械工学実験Ⅱ 機械工学実験Ⅲ 工学設計 工業英語Ⅰ 工業英語Ⅱ 技術表現法 卒業研究
【選択科目】		
数値解析 伝熱工学 応用熱工学 振動工学 オペレーションズリサーチ 弾塑性力学 先端機械材料	油空圧工学 生産システム 計測工学 システム制御工学基礎 メカトロニクス 現代物理学	機械工学演習 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外実習Ⅲ 学外実習Ⅳ 海外技術研修

専 門 科 目（電気電子工学科）

【必修科目】		
応用数学A 応用数学B 応用物理Ⅱ 電磁気学Ⅲ 回路理論Ⅲ 通信工学	電子回路Ⅱ 電気電子機器 電力工学 自動制御 電気電子材料 工業英語Ⅰ	社会と工学 社会と産業 電気電子工学実験Ⅳ 電気電子工学実験Ⅴ 卒業研究
【選択科目】		
エネルギー変換工学 固体電子工学 マイクロ波工学 現代制御工学 デジタル制御工学 工業英語Ⅱ	コンピュータ工学 パワーエレクトロニクス 電気法規 応用電気数学Ⅰ 応用電気数学Ⅱ	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外実習Ⅲ 学外実習Ⅳ 海外技術研修

専 門 科 目（電子制御工学科）

【必修科目】		
応用数学 応用物理Ⅱ 工学数理Ⅱ 工学数理Ⅲ 工学数理演習 線形回路解析 電磁気学Ⅰ	電磁気学Ⅱ 電子機械設計・製作Ⅰ 電子機械設計・製作Ⅱ 計算機工学Ⅱ 制御工学 計測工学 品質工学	社会と技術 社会と工学 社会と産業 電子制御工学実験 工業英語 卒業研究
【選択科目】		
電子機械設計演習 C言語応用演習 計算機シミュレーション システム制御工学 人工知能	オブジェクト指向言語 通信工学 ロボット工学 電子制御工学演習A	学外実習Ⅲ 学外実習Ⅳ 学外実習Ⅴ 学外実習Ⅵ 海外技術研修

専 門 科 目（制御情報工学科）

【必修科目】		
応用数学A 応用数学B 応用物理 工学演習Ⅱ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ オペレーティングシステム	数値解析 離散数学Ⅱ コンピュータグラフィックス 電磁気学 設計工学 計測工学 自動制御	創造設計Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 社会と工学 社会と産業 卒業研究
【選択科目】		
計算機シミュレーション データベースシステム 人工知能 情報ネットワーク論 ソフトウェア工学 通信工学 現代制御工学	デジタル制御工学 ロボット工学 システム工学 流体力学 振動工学 生産システム 現代物理学	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外実習Ⅲ 学外実習Ⅳ 海外技術研修

専 門 科 目 (物質工学科)

【必修科目】		
無機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 有機化学Ⅳ 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 生物化学Ⅱ 微生物学	分子生物学 化学工学Ⅱ 品質管理 科学英語Ⅰ 物質工学特別講義 応用数学Ⅰ 応用物理Ⅱ	社会と工学 社会と産業 生物工学実験 化学工学実験 卒業研究
【選択科目】		
機器分析 固体化学 高分子科学 物理化学Ⅳ 生物化学Ⅲ 分離工学 電気電子工学基礎	錯体化学 培養工学 酵素工学 細胞工学 遺伝子工学 科学英語Ⅱ 応用数学Ⅱ	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外実習Ⅲ 学外実習Ⅳ 特別物質工学実習 海外技術研修

専 門 科 目 (各学科共通)

先端ものづくり工学	How to Become a Global Engineer
-----------	---------------------------------

6. 令和元年度卒業生の進路状況

総括表

学科名	内訳	卒業生	就職者	進学者	その他
機 械 工 学 科		36	23	13	0
電 気 電 子 工 学 科		37	20	14	3
電 子 制 御 工 学 科		38	15	20	3
制 御 情 報 工 学 科		44	22	19	3
物 質 工 学 科		39	19	20	0
合 計		194	99	86	9

7. 学 生 寮

本校は教育の一環として、共同生活を通じて人間形成に資するため、原則として第1・2学年全寮制としています。

編入学生の入寮は、遠距離等で通学できない等の事情がある者に対して、選考の上可否を決定します。

8. 主 な 経 費

費 目	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	入学年度のみ徴収。
授 業 料	117,300円 (半期分)	年額 234,600円を2期に分けて分納。
教 科 書 等	約40,000円 (年額)	学科により金額が変わります
入寮の場合	宿 料 4,800円 (半期分)	年額 9,600円 (個室月額800円) 約300,000円 (年額、10ヶ月分) 年額 45,500円 (年額、10ヶ月分) 入学年度のみ徴収。
	寄 費 約30,000円 (4月分) 予定	
	食 水 費 4,550円 (4月分) 予定	
	学 生 会 入 会 金 1,000円	
	学 生 会 費 5,000円 (年額)	
	寮 生 会 入 会 金 500円	
	寮 生 会 費 1,500円 (半期分)	
エ ア コ ン 条 件 料	13,000円 (半期分)	入学年度のみ徴収。 年額 3,000円を2期に分けて分納。 年額 26,000円を2期に分けて分納。
小 計	約20万円 (半期分)	年額 約40万円
そ の 他 の 諸 経 費	27,000円 (半期分)	後援会入会金等入学年度のみ徴収含む

注1 納入金額は、規則等の改正により変更することがあります。この場合は入学手続きまでに連絡します。いったん納入された入学金は返還しません。

注2 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定後の新授業料が適用されます。

9. 入学料・授業料・寄宿料免除制度

- (1) 入学料・・・入学前1年以内に、学資負担者を失ったり、風水害等の災害を受けたり、その他特別な事由により納付が困難であると認められる場合。
- (2) 授業料・・・経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合。
- (3) 寄宿料・・・学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

10. 奨学金制度

- (1) (独) 日本学生支援機構

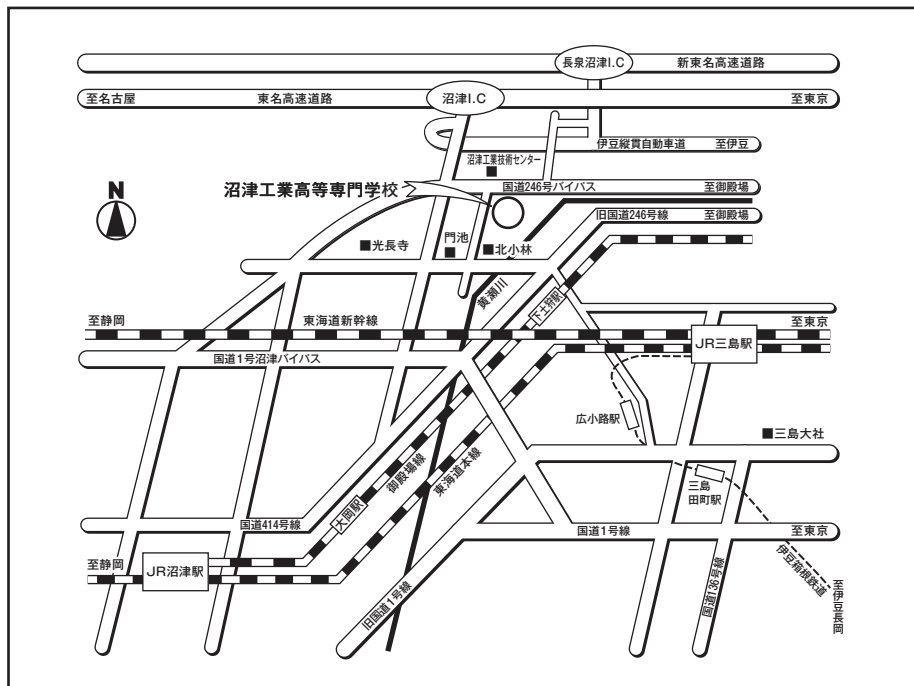
(独) 日本学生支援機構の奨学金は、学業、人物ともにすぐれ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、選考のうえ貸与されます。

種類	区分	1～3年生	4～5年生・専攻科生
第一種 (無利子)	自宅 通学	10,000円、 21,000円から選択	20,000円、30,000円 45,000円から選択
	自宅外 通学	10,000円、 22,500円から選択	20,000円、30,000円 40,000円、51,000円から選択
第二種 (有利子)			20,000円～120,000円 (10,000円刻み)

- (2) その他、地方公共団体・民間団体及び本校同窓会の育英資金等があります。

交通案内

● 沼津工業高等専門学校



- JR沼津駅南口 富士急シティバス（北小林行）
バス停「北小林」下車 徒歩10分

- JR御殿場線下土狩駅 徒歩20分

タクシーを利用した場合はJR三島駅北口、JR下土狩駅より各々5～10分程度

- 東名高速道路「沼津インター」、新東名高速「長泉沼津インター」より車で5分

受検に関する問い合わせ先
独立行政法人国立高等専門学校機構
沼津工業高等専門学校 学生課入試・国際交流係

〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600
電話 055-926-5962 (学生課直通)
E-mail : nyuusi@numazu-ct.ac.jp
URL <http://www.numazu-ct.ac.jp>